



理工学研究科社会基盤・建築デザインコースの大学院生が 令和六年度土木学会水工学委員会水工学論文奨励賞を受賞

【概要】

理工学研究科理工学専攻社会基盤・建築デザインコース 博士後期課程 2 年の高井 佑豪さんが、令和六年度 土木学会 水工学委員会 水工学論文奨励賞を受賞しました。

【本文】

理工学研究科理工学専攻社会基盤・建築デザインコース 博士後期課程 2 年の高井 佑豪 さん（指導教員：押川 英夫 教授）が、2025 年 12 月 10 日に開催された令和 7 年度「第 70 回土木学会水工学講演会」の開会式中に行われた表彰式において、前年の第 69 回水工学講演会で発表された土木学会論文集の中から選出される「水工学論文奨励賞」の受賞者として表彰されました。

水工学講演会は、土木学会が毎年開催する全国規模の学術講演会であり、土木学会論文集の特集号（水工学）として発表される論文概要を講演する場です。この講演会では、優れた研究論文を執筆・発表した 32 歳以下の講演者を対象に、例年 3 名程度の若手研究者を表彰する制度が設けられています。このたび、高井さんの研究が高く評価され、受賞に至りました。今後、ますますの活躍が期待されます。

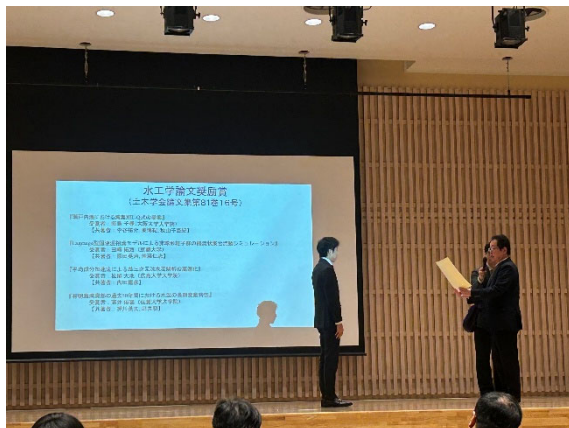
○水工学論文奨励賞

理工学研究科 社会基盤・建築デザインコース 博士後期課程2年 高井 佑豪 さん

（指導教員：押川 英夫 教授）

論文題目：「有明海湾奥部の過去50年における水温の長期変動特性」

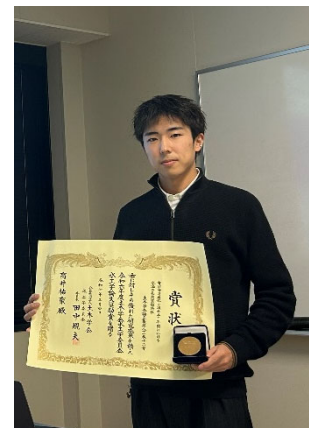
論文著者：高井 佑豪，押川 英夫，田井 明



授賞式の様子



挨拶の様子



賞状をもつ高井さん